

## 攻めの姿勢で市民の意見を聞きに行く工夫をしては

「まちづくりアドバイザー制度」により、職員を地域の課題解決のアドバイザーとして各校区に配置している。

一問一答方式



平松 昭徳 議員  
市民クラブ

### ■広聴活動の実施について

**問** 年間80件以上ある市民の声について、どのように対応しているか。

**答** 担当課から文書などで本人に回答するとともに、職員全員にも意見を周知している。

**問** 寄せられた意見の市民への公表や周知はどうなっているか。

**答** 公共性の高いものは、市のホームページで紹介している。

### ■市民意識調査について

**問** 社会情勢が変化する中で、3年ごとの市民意識調査では、データを活用する時にズレが生じるが、どう考えているのか。

**答** 調査は、経年変化を把握するもので、市民の負担、

調査分析に要する期間・経費などを考慮すると、3年に1回の調査が適切である。

**問** 行政サービスを提供する側として、調査を施策にどのように反映しているか。

**答** 市民意識調査による満足度の結果から、施策の成果を把握し、取り組みの方向性や内容が適正かを評価。また、重要度の結果は、施策の優先度に反映している。

**問** 行政運営に対する市民の意見は、攻めの姿勢で聞きに行く工夫をしてはどうか。

**答** 職員を地域の課題解決のアドバイザー、市民と市役所の伝達役として各校区に配置している（まちづくりアドバイザー制度）。



## 学校再編

4月1日、和地・堀切・伊良湖小学校を統合し、**伊良湖岬小学校がスタート**しました。全校児童は178人、平成32年度には、伊良湖岬中学校跡地に新校舎が建設されます。

学校再編計画では、平成31年度までに、野田中（H28.4）、伊良湖岬中・泉中・六連小の統合が予定されています。



伊良湖岬小学校（旧和地小学校）



堀切小学校（廃校）



伊良湖小学校（廃校）